

失火御見舞御禮

今朝失火の際は早速御馳付消防に御盡力被下御蔭様を以て大事に至らず候段難有奉深謝候一々拜趨御禮可申上筈の處混雜の際乍略儀紙上を以て御禮申上候

八月十六日 平町二丁目

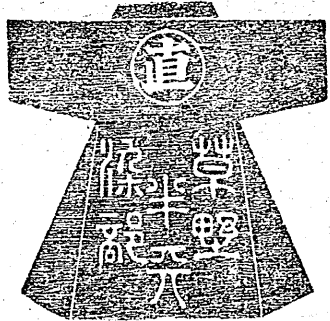
大村屋旅館
電話一二五番

近火御見舞御禮

今朝近火の際は早速御馳付消防に御盡力被下御蔭様を以て大事に至らず候段難有奉深謝候一々拜趨御禮可申上筈の處乍略儀紙上御禮申上候

八月十六日

以上



印半天専門
優秀品の証明
受領 草野染工場
電話三四八番
磐城 平町

◎徒弟入用

徒弟契約ニ付テハ年明キニ際シ有利ニ御相談申上候

外科

入院應需
上田外科醫院
平町 南町
電話一二九番

ステキに良い石炭にコークス
ステキに安い石炭にコークス
ステキに理想的な石炭にコークス
物は試し是非一俵御使ひ下さい。如何に廣告よりも
實物が優れて居るかわかりませうから……

平驛前
阿部石炭商店
電話二七三番

株式会社 **平銀行**

平町二丁目一同

二丁目 **關内正一**
電話十六番

二丁目 **菊屋樂器店**

二丁目横町 **菅本富次郎**
みたいや 電話六三七番

南町北裏 **玉よし**
電話四二六番

二丁目横町 **藤市遠藤市松**
電話三〇五番

平館 **松田卯次朗**

二丁目横町 **藤寅氷水店**

二丁目横町 **小松三造**

二丁目横町 **大槻徳藏**

二丁目 **白土四郎**
電話一五一番



八月十六日

日刊 發行所 磐城 平町 常盤新聞社
電話六三〇番

定部金貳錢 一ヶ月廿錢 三ヶ月五錢 半年十錢 一年二十錢
印刷部 電話六三〇番

生活原理としての創造

常警毎日新聞 稻毛金七

若しも我國民全體を擧げて在來の文化又は現在の状態に満足して居ると云ふならば、皆舊套に泥んで居る筈であります。然るに今申しました如き、表面から見ても誠に輕薄であり又うすつべらのやうであります。日本の人が英語を喜び日本人が外國の文化を求めると云ふ所には、重大な意義が横たはつてゐるのであります。蓋し我國民の一半が在

來の我國の文化に満足せず進んで歐洲先進國の文化を採入れて、我々の眞の生活を乃至は眞の文化を見出し行かうと云ふ進取的要求があるために、我國をして斯の如き中途半端な過渡的状态に置かしたるものだからであります。若しも不幸にして今申しました過渡的状态が斯の如き根據即ち進取的或は建設的の要求無しに生れたものでありますならば、我々は國家の前途に對して非常に大なる憂慮を懷かなければならぬのであります。私共が此處に斯うやつて安じて居られます理由の最も大きなものは今

申上げました斯の如き過渡的状态を生じたのも、要するに我國民の進取的の精神が其原因となつて居ることを認めるが故に外ならないのであります。然るに過渡的状态とは云ふ迄もな一個の煩悶状態でありませぬ。哲學は疑問から生れると申します。個人に於ても社會に於ても乃至は國家全體に於ても煩悶のない所に本當の進歩はない。

(つづく)



今朝平町目拔きの 二丁目大村屋から發火

原因は煙草の吸から

今十六日午前九時頃平町二丁目大村屋旅館の奥座敷から發火し大事に至らんとした。爲め同所は平銀行を始め他の大商店櫛比せる目拔きの場所柄 として一時は大騒ぎを演じ非常な雑踏を呈したが平署よりは片寄警部補以下十數名の警官急行し直ちに非常線を開き平消防組を始め神谷、好間、平窪内郷、飯野、の各消防組出場必死の活躍に依り同家座敷から隣家の瀬戸物商關内慶次郎方物置に

飛火し た外他に燃焼を免れ同九時四十分頃鎮火した。原因は大村屋の主人大村一平君が當日午前七時頃發火場所たる六疊の奥座敷にて煙草を喫し其吸殻を煙草盆に投げ入れたが其火が圓らずも盆中の紙クズに燃え移り延焼するに至つたものであると

猛火の中に 飛び込んで

田中司令代理の活躍
附近の人々感謝
右の大村屋の火災に當り同家に宿泊中であつた横須賀航空隊司令代理田中平氏は猛火の中に飛び込んで消火に努力し活動頗る目覺しく

警女校長 近く決定か

多分新進抜て

警城高等女學校は校長櫻井賢文氏が逝去後其の後任者未だ決定するに至らず欠員の儘であるが二三中等學校の儘の更迭もあつた事として近く決定を見る筈であつて多分新進が抜擢される見込である

郡市農會 技術員會議

本日中に開會

兩教授の講演
本縣農會主催の郡市農會技術員會議は十六日午前九時から平町郡農會事務所にて開會縣からは古賀、廣瀬大垣内の三技師臨席席席翌十七日には高等師範教授中島信實氏の『農業政策』農業大學教授古市末雄氏の『園藝に就て』の講演ある事となつて居る提出協議事項次の如し

- 一、下級農會指導の状況並に一層之れが活動を促す方策に關する件
- 一、市町村産業技術員普及に關する件

風呂敷包みの大金

今朝平驛の遺失物

中を開いて驛員がビツク
今十六日午前九時頃平驛待合室に風呂敷包みの遺失品あつたのを驛員が発見中を開いて見ると三百廿三圓四十三錢五厘の現金があつた爲め直ちに平署に届出たが未だに遺失者が判明しない

日光方面へ

オートバイで

平協會の十四輛が
平町平モーターサイクル協會では會員の遠乗會を企て十六日夕刻歸町の豫定で十四日午前九時出發したが加オートバイは十四臺で遊覽地は水戸を経て日光に向ひ更に鹽原に至り郡山を経て歸町の順序である

無燈火告發

昨夜の違反五件



家庭欄

平署にては昨今自動車が増し通行瀕繁な折柄であるが昨夜の違反五件は

麻洋服の洗ひ方

水三升に曹達茶さじ二杯を入れ其の中に浸して置き、次に水三升に粉末石鹼三三じ位を溶かした石鹼水の中

一、東北一道六縣聯合副業共進會出品物取纏めに關する件

一、東北一道六縣聯合副業共進會出品物取纏めに關する件

五歳
酒造講習會 石城酒造組合の酒造講習會は今十六日より三日間平務署樓上に於て開催するが講師は仙臺稅務監督局小池嘉之佐藤四郎兩技師及び講師鹽入濱吉の三氏で講習生五十名である

仲里辯護士病む 辯護士法學士仲里文平氏は過般來病氣の爲め大森醫師の診療を受けてゐるが経過歩々から最近では一般面會を避け専ら静養に力めてゐる

耳の兎 お友達へ盆の晴衣 岩手縣岩手郡太田村女子青年團西太田分團では先達て失火して分團長佐々木ヨシ子さんのため盆の晴衣も焼いてしまつたのにいたく同情し團員がお金の出どころとして衣類十數點を購ひ役員等がお休みの日に母校へ集まり顧問佐々木セツ子さんの指導の下に誠意を籠めて縫これを贈つたといふ乙女等のやさしき心遣ひを村人は皆感心してゐる

前社長葬儀

いはらき新聞

前いはらき新聞社長飯村丈三郎氏は去る十三日東京に於て奇貨に遭ひ手當中であつたが同日午後四時十分途に死去したが氏は嘉永六年五月十四日眞壁郡上妻村に生れ明治十四年度縣議に選出され同廿七年衆議院議員に當選を振り出しとして政治經濟社會教育のため盡粹いはらき新聞社長となり今日に至つたのである葬儀は十九日午後三時水戸市外常磐村茨城中學校庭に於ていはらき新聞社葬の禮を以てすることにまつた享年七十

水道寄附の未納を整理

委員を決定

平町水道は敷設の當時各區有志より八萬七千九百九十二圓卅錢の寄附あり是れを工事費の一部に繰り入れたが其内七千四百四十四圓人員百十人は未だ納入済みにならぬ爲の整理の必要を生じ昨日の町會にて伏見町長より佐藤岩次郎、會川卯三郎、大谷久藏、遠藤林松、花澤久一郎の五氏を整理委員に指名し是れが督促整理に當らしむる事となつた

召集日に童話

平第一小學校にては昨日、平

二小學校にては本日休暇中に於ける兒童の召集日である爲め川崎小島、鈴木積善兩師の童話講演があつた

金指輪をはめた 婦人の屍体漂ふ

江名海岸にて福壽丸發見

何處の者が判らない

去る十四日午後六時半頃石城郡江名町大字下神白地内綱取岬東海岸近くの海中にて同郡小名濱町の福壽丸が航行中

波間に

一個の屍体漂ひ居たるを船長白土由松が発見直ちに屍体を同海岸に引揚げたが年齢卅四五歳の女にて頭髮は束髪に結び着衣左記の如くにて

紺地ヤ木タラ縞メリンス 單衣一枚、白綿水色小紋

左薬指には石入の細い金指輪をはめ綱取岬の東海岸に死者の使用したらしい白地に黒へり取りの洋傘一本及び下駄等の遺留品があつた事から見るに多分同海岸より

身投げ せるもの、如く何處の者とも判明しない

産業組合

現在數廿五組

石城郡の産業組合は現在組合數二十五組組合員七千二百四十人に達し出資總額も江名町信用組合の十三萬四千五百五十圓を筆頭に合計七十七萬六千七百三十五圓といふ數字を見せてゐる

平町 人事

▲出生
△鐵道官舎二〇 伊藤清作氏長男品
△彌富町五八 鈴木深治郎氏三女トモ子

▲婚姻

△石川郡川東村 會社員熊谷英雄氏
(二三) 新川町一八橋本ナツ(二三)
△初瀬澤一三〇 官吏栗山學時氏
二九 宮城縣仙台市瀬戸敏子(二四)

▲死亡

△研町一 小柳正一(一七)
△鷹匠町一三 田代時子(三六)
△同上 田代宗三郎(四五)
△長橋町二 松本リツ(四五)